

令和6年2月発生  
七管内漁船海難 計2隻

令和6年2月末現在 累計 6隻(前年同 11隻)  
漁船海難発生隻数は前年に比べ **5隻減少**

漁船海難隻数 (速報値)	県別内訳	
	2月	令和6年累計
衝突 ★ 1	山口県 1	1(0)
運航不能 (無人漂流) ◆ 1	福岡県 0	0(2)
	佐賀県 0	0(0)
合計 6隻(昨年 11隻) 死亡、行方不明者: 4名	長崎県 0	3(7)
	大分県 1	2(2)
	合計 2隻	6隻(11隻) (〇は昨年同月)



累計死亡・行方不明者数 4名(令和6年2月末日現在)

## 海中転落・転倒事故を予防しよう！！

高齢者の船上からの海中転落や転倒による事故が多発しています。  
(令和6年1/1～3/12における65歳以上の漁船に関する人身海難「8件」)

特に海中転落は、死に直結する危険な事故です。

●転倒リスクに関する研究で、

筋力低下が最も転倒リスクを高めるとされています。

50歳を過ぎた頃から筋力が低下する傾向がありますので、意識的に生活に「筋力トレーニングやウォーキング」などの運動を取り入れて、筋力を維持するように努めましょう。

●甲板を整理したり、夜間の照明などを見直し環境を整備して事故の要因を排除しましょう。

●「薬」の中には、副作用として「眠気・ふらつき」もあることから転倒の危険性が高まる場合がありますので、自分が飲んでいる薬の副作用を確認してみましょう。